

(ご参考)

講演会で託児が十分に用意できない場合の対策

当オフィスでは、過去の経験から下記の理由により、親子同室の講演講座は承っておりません。

- お子さんが親御さんの注意を引きたくて、泣いたり騒いだりした時に
お子さんを無視して無理に講義を聴き続ける方もいらっしゃいます。
子育て講座のために、子どものケアがされない状況をつくるのは本末転倒になってしまいます。
- 「話が聞こえなかった」という苦情が出ます。
- 当オフィスの講演は大人向けで子ども達が楽しめる内容ではないため、
1歳～就園前のお子さんがじっとしてられず声をあげるのは自然なことです。
誰も悪くありませんが、その人数が多ければ多いほど、会場がカオスになり
参加者はもちろん、講師も話に集中できなくなってしまいます。

託児枠を増やして対応なされる自治体さんや、

人員、環境、ご予算の関係で致し方なくキャンセル待ちでのお断りをなされる自治体さんもございますが

その他の方法として・・・

お子さんが静かに座ってられない状況になった時に、一旦会場の外に出てお子さんのケアができる
夏は涼しく冬は暖かい別室や、ホールのホワイエをご利用いただけるようにし、

可能ならばそこをサテライト会場として、ホールの映像も映ればベストですが
音声だけでも聴こえるように配慮される自治体さんがございます。

この際、講演開始前に、当オフィスでご用意するプレゼンテーションで
以下の文章をスクリーンに映し出しておきます。

「会場の皆さまへ

90分間休憩はありませんが、途中での入退場は自由です。

子どもがぐずったり、泣けてしまったり、走り回りたくなるのは当たり前のことです。

そんな時のために、会場の外でも聴講いただけるよう別室にモニターがございます。

お子さまが落ち着いたら、また戻っていらしてくださいね。

講師の声が聞こえる会場になるよう、みんなで協力しましょう。」

どのような方法が可能か、ご検討くださいますようお願い申し上げます。